

月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 | (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989. 8. 9 No. 3067

動労千葉結成10周年!

7/29 支部委員会開催 新小 磯辺さん(「事業団」) 奪還を決意!

新小岩支部は、七月二十九日支部委員会を開催し、この間の闘いを総括し、今後最大の課題である「事業団」闘争を全組合員の総決起で闘っていくことを確認した。

特に支部「出身」の磯辺さんをなにかなんでも取り戻そうと全員が固く

決意したところである。総括では、この間の物販闘争について、職場内と地域でぼぼ目標を突破する取り組みをやりきってきた。又、暑期中、関西新空港反対集会や諸課題を役員を先頭にたたかってきたところであり、こうした闘いを通して組

織の着実な強化を図ってきたといえる。支部の活性化は八九春闘をストライキとして打ちぬいてきたことが大きな要素として考えられる。この間の闘いからいえることは、役員が組合員を信頼し、まず先頭にたつて、方針の貫徹のために奮闘すること。そうすれば必ず、どこかで組合員と心が通じあえるし、当局の攻撃もうち破れるという確信をつかんできたことである。

新小岩支部は、支部内の闘いとあわせて地区・地域での取り組みを重視し、東部地域内の争議の支援なども取り組んでいる。その結果、物販についてかなり応援をいただいている。今後も地区共闘は強めていく方向である。

新小岩支部は貨物支部の中心を担って頑張る決意である。



夏季キャンプ

鉞子

7/29-31

盛大に開催

親睦を深める

恒例となった支部夏季キャンプが七月二十九日から三十一日の三日間にわたって犬吠崎の黒潮うち寄せる「君ヶ浜キャンプ場」で盛大にかちとられた。色とりどりのパンガロ

1が立ち並ぶキャンプ場に真紅の「動労旗」「サークル旗」が高々と掲げられ、いよいよ開村式である。青年部長の力強い宣言のあとサークル部長より

これまでの成功にむけての経過報告、そして錦織支部長より「大いに遊び飲んで、歌って、団結をうち固め次の闘いのバネにしよう」とのあいさつでキャンプは開始だ。班

編成を行ない子供達を連れて「酒のサカナ」とりに、食事班、それぞれ思いこめて行動開始である。みんなで力をあわせて「収穫」した物をもちよりに、いよいよ楽しい夕食である。組合員・家族は普段思っていること、職場のこと、家庭のことをザックバランに語り合う、そのまわりでは子供達が花火にすいかわりに大ハシヤギである。

二日目も天候にめぐまれ、勤務終了者が続々と駆けつけ、前日にもまして大にぎわいとなった。

設営班の奮闘で多くの者が泊りこみ、夜を徹して語り合った。鉞子支部は、このキャンプを通して、団結をいっそううち固めてきた。不当に解雇された仲間、清算事業団に送りこまれ

ている仲間と家族を暖かく包み、JR当局と鉄道労連を断じて許さず組織をよりいっそう強化・拡大することを誓い合い、三日間の有意義なキャンプを終了した。

清算事業団闘争勝利 動労千葉 総決起集会



8.21(日) 18時
千葉市護国公園 ☆
(〒280-0854 千葉市)